

崔書勉先生と私 記念寄稿集

2012年5月26日崔書勉先生日本上陸五十五周年

写真で追った祝賀会と

15年に及ぶ「崔書勉先生を囲む会」活動の一部





CARDINAL'S RESIDENCE
301, 2-11, SHIMOOCHIAI 3CHOME
SHINJUKU-KU, TOKYO-POST NO.161-0033-JAPAN

Peter Cardinal Shirayanagi
Archbishop Emeritus of Tokyo

崔 書 勉 先生

2006年1月19日

永らくご無沙汰しましたが、お元気に新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。波乱万丈の道乗り越え、国家と教会のためにご尽力なさり、はれて故郷にお戻りになられたことは誠に喜ばしく感じます。

新年にはご親切な賀状に接し、心から御礼申し上げます。遅ればせながら、私も新年を寿ぎ、神のお恵みをお祈りいたします。最近の政治家たちが歴史認識を欠き、両国の関係がスムーズに行かないのをたいへん悲しく、彼らの改心を心から期待しています。

この冬は各別な寒さと思います。どうぞお大事になさり、お元気に活躍ください。終わりに寒中お見舞い申し上げます。

白柳 誠一

崔書勉先生日本上陸五十五周年記念祝賀会 プログラム

- 11:00 開 会 司会進行 寺田佳子
 ご 挨 拶：堀 渉
 御 祝 辞：徐炯源公使 申珏秀大使代理
 越智 通雄元国務大臣 シスター嶋本操
 稿 集 贈 呈：森松 義喬
 花 束 贈 呈：細矢 恵 韓国文化院 音楽教師
- 11:45 記 念 講 演：橋本 明 執筆中の「自叙伝崔書勉」より
 崔書勉先生の朴大統領会見の華やかな外交デビューの周辺等
- 12:30 乾 杯：100歳におなりの金田義夫先生の音頭
 食事と歓談：さぬき特製“御祝い膳”思い出話等
- 13:30 崔書勉先生55年の滞日中のトピックス!!
 崔書勉先生と質疑応答等
- 14:40 中 し め：橋本明より御挨拶
- 14:50 ティータイム：ロビー階フロアーに移る
 橋本明が歌うアヴェマリア他2曲
 韓国文化院 音楽教師の李勝熙先生(東京芸大大学院卒、ドラマ
 天上の弦]の音楽担当)ピアノ演奏とハンゲルの歌を細矢恵
 先生(国立音大)のご指導で 崔先生を囲む会メンバーの
 渡井幹子氏中心にみんなで歌いましょう
- 15:30 終 了

座 席 表

	川西 総支配人	阿部 様	徐英民 秘書	尹基 様	徐炯源 公使	崖書勉 先生	伊豆見 先生	越智 先生	江口 先生	奥原 様	木内 様	
小針 先生	崔書勉先生 日本上陸55周年記念 祝 賀 会 (33名) 2012年5月26日(土) 11時～ 於：東京さぬき倶楽部										西村 様	
室岡 先生											山下 様	
徳山 様											姜昌萬 様	
中丸 様											松崎 様	
長井 様											森松 様	
												姜大浩 様
	佐藤 先生	落合 様	北村 様	渡井 様	金田 先生	堀 代表	寺田 世話人	嶋本 シスター	橋本 代表	石井 様	土田 様	

2012年5月26日 祝賀会

堀代表の御挨拶 徐公使、越智元大臣、嶋本シスターによる御祝辞、そして
寄稿集贈呈、花束贈呈、ハイライトの橋本代表による記念講演。

そしてさぬき倶楽部特製御祝い膳で歓談…



崔書勉先生の 55 年



先生の人生が見える素晴らしいお話…



崔先生を称える敬う日韓関係の為の終わらないお話……



越智 通雄



徐 炯源



嶋本 操



尹 基



金田 義夫



奥原 徳太郎



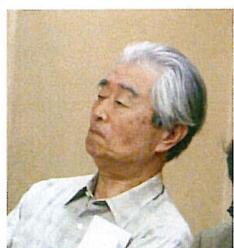
木内 孝



江口 一雄



伊豆見 元



西村 多聞



姜 昌萬



長井 泰治



山下 靖典



落合 一秀



阿部 孝哉



松崎 敏彌



中丸 到生



徳山 謙二郎

中メめの後 1Fフロアのグランドピアノを囲みミニコンサートを催しました
我らが橋本明代表の美しいアベマリアで始まり「椰子の実」には思いを募らせ乍ら
聞きました。偶然 この日のピアニスト李勝熙先生は崔先生の親友故陳昌鉉氏、
世界のバイオリン製作者(TVドラマ「海峡を渡るバイオリン」「天上の弦」のモデル
となり日本の高校の英語教科書に取り上げられた)のTVドラマで音楽担当だったのです。
感激の李氏は素晴らしい自作のピアノ曲を先生に捧げて下さいました。
崔先生と陳氏の親交は神様がこんな形で私達に知らせて下さった様です。感激！！
・・・そして渡井幹子さん中心に楽しいハングルの歌で終了致しました。

